

第46回 北信越国民スポーツ大会

2025.8.22^{FRY} ▶ 24^{SUN}



カヌー (SL/WW) 競技 プログラム



主催 (公財) 日本スポーツ協会 富山県 長野県 福井県 新潟県 石川県
富山県教育委員会 長野県教育委員会 福井県教育委員会 新潟県教育委員会 石川県教育委員会
(公財) 富山県スポーツ協会 (公財) 長野県スポーツ協会 (公財) 福井県スポーツ協会 (公財) 新潟県スポーツ協会 (公財) 石川県スポーツ協会
共催 会場地市町 会場地市町教育委員会 **後援** スポーツ庁 **主管** (公財) 富山県スポーツ協会 富山県各競技団体



この大会は、競輪の補助を受けて開催します。

開催の趣旨

国民スポーツ大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

スポーツを行う者の心得（「日本スポーツ協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーの精神を尊重する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

目 次

若い力	・・・・・・1	諸 会 議	・・・・・・8
富山県民の歌	・・・・・・1	大 会 日 程	・・・・・・8
大会長あいさつ	・・・・・・2	競 技 組 合 せ 表	・・・・・・9
富山県議会議長祝辞	・・・・・・3	競 技 成 績 表	・・・・・・10
富山県カヌー協会長あいさつ	・・・・・・4	監 督 ・ 選 手 名 簿	・・・・・・12
射水市長歓迎のことば	・・・・・・5	カヌー競技の見方	・・・・・・13
競技会役員	・・・・・・6	会 場 案 内 図	・・・・・・14
競技役員	・・・・・・7	宿 舎 ・ 大 会 本 部 等	・・・・・・15
式典次第	・・・・・・8		

若い力

日本体育協会選定

佐伯孝夫 作詞

高田信一 作曲

一、若い力と感激に

燃えよ若人 胸を張れ

歓喜あふれる ユニフォーム

肩にひとひら 花が散る

花も輝け 希望にみちて

競え青春 強き者

二、薫る英気と 純情に

瞳あかるい スポーツマン

僕によろこび 君のもの

挙る凱歌に 虹が立つ

友情身にしむ 熱こそいのち

競え青春 強き者

富山県民の歌

辻本 俊夫 作詞

牧野 良二 作曲

一、仰ぎ見る 立山連峰

朝空に 輝くところ

躍進の 理想かざして

高らかに 生産の歌

声そろえ 声そろえ

共にうたわん 共にうたわん

ああ われら われら富山 富山県民

二、かもめ飛ぶ 有磯の海に

新潮の 花咲くところ

平和呼ぶ 祈をこめて

新しき 世紀の文化

相むつみ 相むつみ

共に築かん 共に築かん

ああ われら われら富山 富山県民

三、豊かなる みのりの山野

川清く 流るるところ

すこやかに 大地をふみて

火と燃ゆる 希望を胸に

手をとりにて 手をとりにて

共に進まん 共に進まん

ああ われら われら富山 富山県民

あ い さ つ



第 46 回北信越国民スポーツ大会 会長
公益財団法人富山県スポーツ協会 会長
富山県知事 **新 田 八 朗**

このたび、第 46 回北信越国民スポーツ大会を富山県において盛大に開催できますことは、大変ありがたく、心からお礼申し上げます。

また、北信越各県の選手・監督並びに役員の皆様には、ようこそ富山県へお越しくださいました。県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本県では、今年 4 月に「富山県スポーツ推進プラン」を改定し、県民一人ひとりのウェルビーイング向上のため、それぞれの目的や好みに応じてスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりや、本県選手が全国や世界の檜舞台で活躍できる競技力向上のための施策を積極的に推進しています。

こうしたなか、北信越地域最大のスポーツの祭典である本大会が開催され、各県代表の精鋭の皆様が、郷土の誇りを胸に第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」の出場権獲得をかけた熱戦が繰り広げられますことは、競技力向上はもとより、本県のスポーツ振興を図るうえで、誠に意義深いものがあります。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、お互いの交流を深められ、心に残るすばらしい大会となりますようお祈り申し上げます。

また、県外からお越しの皆様には、このたびのご来県を機に、美しく豊かな自然や多彩な歴史・文化、「寿司といえば、富山」と自負する新鮮な海の幸・山の幸など、本県の魅力の数々を大いに実感していただき、「富山ファン」となっていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に力を尽くされました会場の市町をはじめ、関係の皆様にも深く敬意を表しますとともに、大会のご成功と選手の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。

祝 辞



富山県議会議長 武 田 慎 一

北信越地方最大のスポーツの祭典である第46回北信越国民スポーツ大会が、ここ富山県において盛大に開催されるにあたり、富山県議会を代表いたしまして、選手・監督並びに役員の皆様方のご来県を心から歓迎申し上げます。

本大会は、第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」への出場権をかけた大会であるとともに、北信越地域のスポーツの振興と発展に大きく寄与してきた伝統ある大会であります。選手の皆様方の競技に全力で取り組まれる姿や熱戦の数々は、県民に大きな感動と希望を与えるものと確信しております。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を遺憾なくされ、大いに活躍されるとともに、各県から参加された選手・役員の皆様方と交流を深められ、実り多き大会となりますようご期待申し上げます。

また、県外からお越しの皆様方には、この機会に本県が誇る美しい自然、新鮮な食材、個性豊かな伝統文化など、多彩な魅力にふれていただき、本県に対するご関心をお寄せいただく契機となれば幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にご尽力されました関係の皆様方に深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功と、選手の皆様方のご健闘、そしてご来県の皆様方のご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

あいさつ



富山県カヌー協会
会長 野上 浩太郎

第46回北信越国民スポーツ大会カヌー競技会が、各県より選び抜かれた選手、監督、役員の皆様をはじめ、関係の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、心より歓迎申し上げます。

さて、スラローム・ワイルドウォーター競技は、今回が初めての会場となる“和田川カヌー競技場”で開催されます。この会場は、25年以上カヌー競技の練習場として親しまれており、練習に必要なゲートが常設されている日本でも数少ないコースとして、県内外から多くのオリンピック選手や日本代表選手が練習で訪れている会場です。

また、スプリント競技は“石川県小松市木場潟カヌー競技場”にて開催されます。この会場は、文科省よりナショナルトレーニングセンターに指定されており、日本カヌー界を代表するコースとなっています。また、国際大会も多く開催されており、日本代表選手のトレーニング拠点となっている会場です。

選手の皆様には、これまでの練習の成果を存分に発揮され、素晴らしい成績を収められますことをご期待申し上げます。そして、この機会に射水市の観光名所を訪問され、“富山の食”も堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会開催にあたりご尽力賜りました関係の皆様に対し、深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご活躍と、大会の成功をご祈念申し上げ、私のあいさつといたします。

歓迎のことば



射水市長 夏野元志

第46回北信越国民スポーツ大会カヌー競技が、射水市において盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、各県からお越しいただきました多くの選手、監督並びに役員の皆様を心から歓迎いたします。

本大会は、滋賀県で開催される「わた SHIGA 輝く国スポ」への出場獲得を目指し、各県の精鋭選手が郷土の誇りを胸に、熱い戦いを繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典であります。選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、皆様の記憶に残る熱戦が繰り広げられることを祈念申し上げます。

さて、ここ射水市は、北は「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した神秘の海・富山湾に面し、東は3000メートル級の立山連峰を仰ぎみることができると、コンパクトな市域でありながら、海、山、野、里山などの豊かな自然があふれ、四季折々に様々な彩りが見られます。ご参加の皆様には、どうかこの機会に射水市が誇る素晴らしい景観や、豊富な味覚をお楽しみいただくなど、本市の魅力を存分に体感していただければ大変うれしく思います。

結びに、本大会の開催に当たり、多大なご尽力をいただきました関係の皆様、心から感謝申し上げますとともに、本大会のご成功と選手の皆様の今後ますますのご活躍を祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

競 技 会 役 員

名誉会長	夏野元志			
会長	野上浩太郎			
副会長	熊谷元尋	重森俊道	塚田一郎	佐々木紀
顧問	奈田安弘	金谷真	作道賢次	宮本光明
	山崎宗良	伊井謙治		
参与	星野泰志	宮本康博		
委員長	橋本充			
副委員長	佐伯岩雄	稻田真人	釜田涉	武江一
副委員長	國京健二	近藤雅晴		
委員	明神亜希子	青木邦彦	高木信寿	水野浩
委員	黒川忍	松崎陽祐	細川祥平	山崎直樹
委員	加藤和也	長谷川博一	荒城祐佳	深川康志
委員	武江一	野口雄慶	近藤雅晴	久司満

競 技 役 員

競技会会長	野 上 浩太郎			
競技会副会長	熊 谷 元 尋	重 森 俊 道	塚 田 一 郎	佐々木 紀
競技委員長	橋 本 充			
競技副委員長	武 江 一	國 京 健 二	近 藤 雅 晴	釜 田 涉
技術部長	佐 伯 岩 雄			
審 判 長	橋 本 充			
区間審判員	前 田 博 司	高 橋 康 平	堀 川 絢 加	内 山 岳 佳
審 判 員	佐 伯 郁 子	浦 野 忍	塚 原 明 子	
発 艇 係	松 下 豊			
決 勝 係	吉 田 智 亨			
補 助 員	牧 野 浩	寺 垣 光		

式典次第

【開始式】

日時：令和7年 6月 1日（日）
午前9時より
場所：和田川カヌー競技場本部前

次 第

1. 役員・選手団整列
2. 開 式 通 告
3. 競技会開始宣言
4. 競技会長あいさつ
5. 競技上の注意
6. 閉 式 通 告
7. 役員・選手団解散

【表彰式】

日時：令和7年 6月 1日（日）
午後1時30分より
場所：和田川カヌー競技場本部前

次 第

1. 役員・選手団整列
2. 開 式 通 告
3. 成 績 発 表
4. 表 彰
5. 競技会長あいさつ
6. 競技会終了宣言
7. 閉 式 通 告
8. 役員・選手団解散

諸 会 議 日 程

会議名	期 日	時 間	場 所	電話番号
監督会議	令和7年5月31日(土)	12時30分	射水市梅木公民館	090-2376-6908 (佐伯携帯)

大 会 日 程

○令和7年 5月 31日 (土)

- 10:00～12:00 ワイルドウォーター公式練習
11:00～16:00 受付・検艇
12:30～13:00 監督会議
13:30～15:30 スラローム公式練習

○令和7年 6月 1日 (日)

- 8:00 役員集合
8:55 役員・選手団整列
9:00 開 始 式
10:00 スラローム決勝1本目
10:45 スラローム決勝2本目
12:00 ワイルドウォーター決勝
13:30 表 彰 式

競 技 組 合 せ 表

成年男子スラロームカヤックシングル (上位2選手が本国スポへ)

決 勝

選 手 名	県 名	ゼッケン	1 本目発艇時間	2 本目発艇時間
西川 孝盛	福井県	1	10:00	10:45
福田 敬嗣	富山県	2	10:03	10:48
佐伯 雄太郎	新潟県	3	10:06	10:51
安藤 太郎	長野県	4	10:09	10:54

成年男子スラロームカナディアンシングル (上位1選手が本国スポへ)

決 勝

選 手 名	県 名	ゼッケン	1 本目発艇時間	2 本目発艇時間
高木 信寿	富山県	5	10:12	10:57

成年女子スラロームカヤックシングル (上位2選手が本国スポへ)

決 勝

選 手 名	県 名	ゼッケン	1 本目発艇時間	2 本目発艇時間
荒城 祐佳	富山県	6	10:15	11:00
佐藤 妃花瑠	長野県	7	10:18	11:03

成年男子ワイルドウォーターカヤックシングル (上位1選手が本国スポへ)

決 勝

選 手 名	県 名	ゼッケン	発艇時間
國京 健二	福井県	8	12:00
岩瀬 晶伍	新潟県	9	12:02
唐木田 充己	長野県	10	12:04
稲田 直大	富山県	11	12:06
久司 満	石川県	12	12:08

成年女子ワイルドウォーターカヤックシングル (上位1選手が本国スポへ)

決 勝

選 手 名	県 名	ゼッケン	発艇時間
笹生 裕子	石川県	13	12:10

競 技 成 績 表

スラローム競技

成年男子スラロームカヤックシングル（上位2選手が本国スポへ）

発艇順	県名	ゼッケン	氏 名	所要時間	減点	合計	成績	順位
1	福井県	1	西川 孝盛					
8								
2	富山県	2	福田 敬嗣					
9								
3	新潟県	3	佐伯 雄太郎					
10								
4	長野県	4	安藤 太郎					
11								

成年男子スラロームカナディアンシングル（上位1選手が本国スポへ）

発艇順	県名	ゼッケン	氏 名	所要時間	減点	合計	成績	順位
5	富山県	5	高木 信寿					
12								

成年女子スラロームカヤックシングル（上位2選手が本国スポへ）

発艇順	県名	ゼッケン	氏 名	所要時間	減点	合計	成績	順位
6	富山県	6	荒城 祐佳					
13								
7	長野県	7	佐藤 妃花瑠					
14								

ワイルドウォーター競技

成年男子ワイルドウォーターカヤックシングル（上位1選手が本国スポへ）

発艇順	県名	ゼッケン	氏名	所要時間	順位
1	福井県	8	國京 健二		
2	新潟県	9	岩瀬 晶伍		
3	長野県	10	唐木田 充己		
4	富山県	11	稲田 直大		
5	石川県	12	久司 満		

成年女子ワイルドウォーターカヤックシングル（上位1選手が本国スポへ）

発艇順	県名	ゼッケン	氏名	所要時間	順位
6	石川県	13	笹生 裕子		

監 督 ・ 選 手 名 簿

県 名	監 督 【 所 属 】	種 別	種 目	ゼッケン 番 号	選 手 ＜ 所 属 ＞
長野県	篠原 武文 【日精樹脂工業 株式会社】	成年男子	SK - 1	4	安藤 太郎 【安曇野明科カヌークラブ】
		成年女子	SK - 1	7	佐藤 妃花瑠 【県篠ノ井高等学校】
		成年男子	WK - 1	10	唐木田 充己 【飯山市役所】
福井県	藤井 寛隆 【福井県教育 総合研究所】	成年男子	SK - 1	1	西川 孝盛 【福井県カヌー協会】
		成年男子	WK - 1	8	國京 健二 【J A 共済連福井】
新潟県	近藤 雅晴 【三島郡北部 土地改良区】	成年男子	SK - 1	3	佐伯 雄太郎 【パール金属株】
		成年男子	WK - 1	9	岩瀬 晶伍 【一般社団法人三条市 スポーツ協会】
石川県	笹生 裕子 【小松市立高等学校 (教)】	成年男子	WK - 1	12	久司 満 【県立小松高等学校 (教)】
		成年女子	WK - 1	13	笹生 裕子 【小松市立高等学校 (教)】
富山県	高木 信寿 【(公財) 富山県 スポーツ協会】	成年男子	SK - 1	2	福田 敬嗣 【ラックプロ (株)】
		成年男子	SC - 1	5	高木 信寿 【(公財) 富山県 スポーツ協会】
		成年女子	SK - 1	6	荒城 祐佳 【ゼビオ(株)】
		成年男子	WK - 1	11	稲田 直大 【富山市立山室中学校 (教)】

カヌー競技の見方

カヌー競技の現状

昭和39年(1964年)東京オリンピックのカヌー競技に日本が初めて参加して以来、カヌースポーツに対する国民の関心が高まってきました。

もともとカヌーは、私たちの祖先が海・湖沼などで物資輸送や交通手段、そして狩猟に使用するなど生活に欠かせない道具として、大切にされてきました。

そのようなことから歴史は古くいろいろなスポーツよりも人々に親しまれています。特に、欧州各国での普及はめざましく、1924年パリオリンピックで公開競技、1936年ベルリンオリンピックから正式競技に採用され、世界でも最も普及したスポーツとなっています。

近年は、自然と親しむアウトドアスポーツとしても注目を集め愛好家も増えて、生涯スポーツとして盛んに行われています。我が国においては、日本カヌー連盟を中心として全国各都道府県にカヌー協会が設置されております。国民体育大会には、昭和57年第37回国民体育大会(島根県)より正式競技として採用され、全国に充実発展しています。

カヌーの概要

カヌーには、カヤック(K)とカナディアン(C)の2種類があります。カヤックは、艇の中央部に座り、パドル(櫂・かい)の両端にあるブレード(水かき)で、左右交互に水をかきながら艇を進めます。また、カナディアンは、立ひざもしくは片ひざの姿勢を保ち、片側にブレードのついたパドルを操作し進みます。スプリント艇(カヤックのみ)のみ、足で舵(かじ)を操作しながら方向を整えますが、それ以外はすべてパドルを操作し、方向を整えながら進みます。

ボートとカヌーの違いは、ボートはリガー(オールを固定する場所)が取り付けられているのに対し、カヌーはどのタイプもパドルが固定されていません。また、ボートは後ろ向きに漕ぎ推進させますが、カヌーはすべて前向きに漕ぎ推進させます。

カヌー競技の種目

カヌースラローム

カヌーを使った回転競技で、変化に富んだ流れのある河川で行う競技です。

ダウンストリームゲート(こぎ下り:緑と白のポール)とアップストリームゲート(こぎ上がり:赤と白のポール)を、パドルを使ってポールに触れないよう通過し、その速さを競います。国体では25ゲートと15ゲートで競技が行われ、コースの距離は150~400m内でゲートが設定されています。順位は、スタートからゴールまでの所要タイムに、各ゲート通過時のペナルティ(罰点)を加えて決定します。したがって、点数の少ない方が上位となります。各選手は2回漕航し、そのうち良い方の成績で順位付けがされます。

これまではK(カヤック)種目だけが実施されていましたが、平成29年愛媛国体からC(カナディアン)種目が追加されました。

◎ ゲート通過時のペナルティ

正しく通過 0点

1本又は2本のゲートに触れる(何回触れても) 2点

不通過 50点

◎ 成績の計算例

スタートからゴールまでのタイム(3分30秒として)

3分30秒=210点(1秒を1点)

ペナルティ(罰点) ポールに接触1カ所、不通過1カ所として

2点+50点=52点

成績(タイムとペナルティの合計)

210+52=262点

カヌーワイルドウォーター

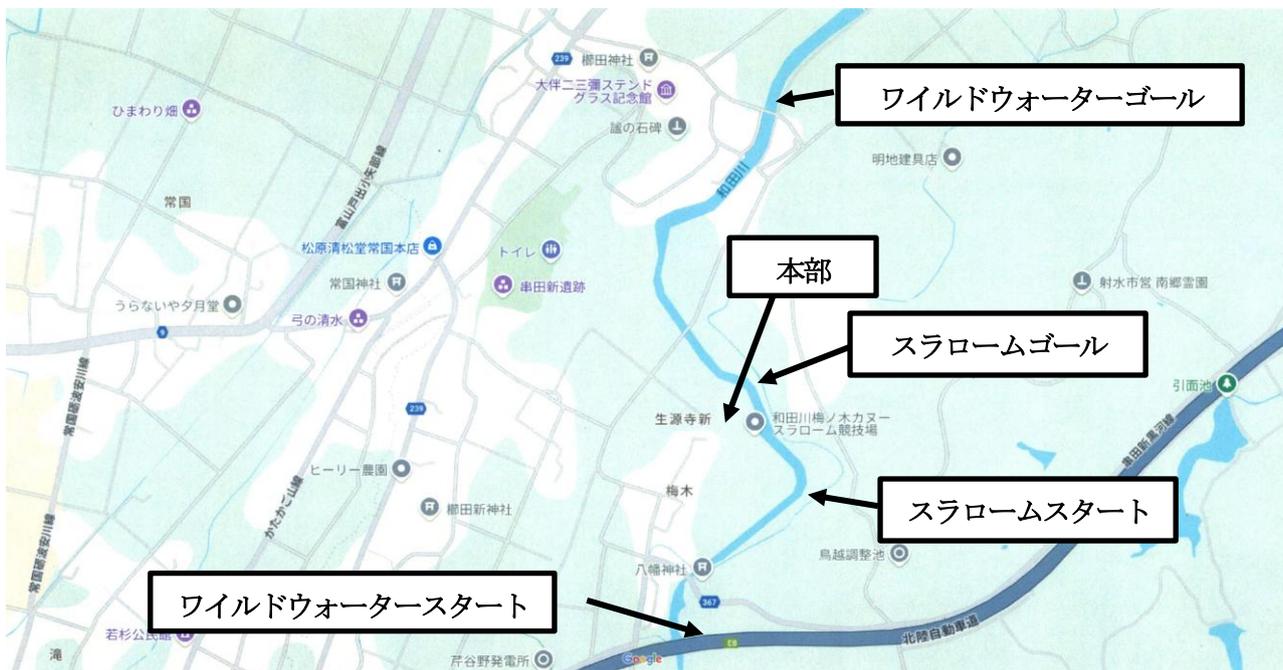
岩などの障害をかかわりながら、流れの激しい河川を一気に漕ぎ下る競技で、順位は所要タイムで決定されます。

競技は、1500mとスプリント（スラロームのコースを使用。コース長は300m～600m）の2つの距離で行われ、デモンストレーション、ノンストップトレーニング（練習、1500mのみ）に続いて、1500mでは1回、スプリントでは2回（成績は2回のうち良い方で順位付けがされる）の試技が行われます。

会場案内図



コース図



宿 舎 一 覧 表

県 名	宿 舎 名	所 在 地	電話番号	
石川県	全種別	ホテルルートイン砺波インター	富山県砺波市太郎丸1丁目9-23	050-5211-5785
長野県	全種別	ホテルルートイン砺波インター	富山県砺波市太郎丸1丁目9-23	050-5211-5785
福井県	全種別	ホテルルートイン砺波インター	富山県砺波市太郎丸1丁目9-23	050-5211-5785
新潟県	全種別	ホテルルートイン砺波インター	富山県砺波市太郎丸1丁目9-23	050-5211-5785

会 場 最 寄 救 急 医 療 機 関

富山県射水市朴木20

「射水市民病院」

TEL 0766-82-8110

富山県射水市下若89-10

「真正会富山病院」

TEL 0766-52-2156

※受診の際は、事前に電話にて確認をお願いします。

競 技 会 本 部

富山県射水市梅木66-2

「和田川カヌー競技場」

携帯 090-2122-2353 (佐伯)

競 技 会 場 連 絡 担 当 者

和田川カヌー競技場本部

富山県カヌー協会 佐伯 岩雄

携帯 090-2122-2353

大 会 本 部

公益財団法人富山県スポーツ協会内

第46回北信越国民スポーツ大会実行委員会事務局

TEL 076-461-7138

FAX 076-461-7139